

第1回 温泉を活用した健康まちづくり事業 運動・スポーツ習慣化促進チーム会議(議事録)

【日 時】 令和6年7月3日(水)18:30~19:40

【場 所】 役場第2会議室

【参加者】 資料のとおり

【内 容】 次のとおり

1 開会

本日は、大変暑かったですね。お疲れのところ、お集まりをいただきましてありがとうございます。ただいまより今年の第1回目となります。温泉を活用した健康まちづくり事業、運動スポーツ習慣化促進チーム会議を始めさせていただきたいと思います。昨年同様どうぞよろしく願いいたします。今年は事業の本格実施2年目ということで、皆さんも昨年にも増して張り切っていただいております。秋以降のメニューについて今日も出てくると思いますけれども、その仕込みに追われているというところでございます。この後説明をさせていただきますけれども、皆さんのご意見でブラッシュアップしていく良い機会でございますのでどうぞよろしく願いします。

この会議の設置要領を改めて見てみますと、その役割として温泉と健康づくりを連携させる取り組みを協議・検討するという記載があります。現在のメニューは、こちらから提案をさせていただいて、それを進めておるというところでございますけれども、この後年数を重ねる中におきましては、このことが、例えば、それを続けていく仕組みであるとか、またバックアップのあり方とか、そういった継続していくというようなことにも、繋がっていかなくてはいけないのかなというふうに思っております。そういう場面になりますとやはり我々からということだけでは当然うまくいかないということもあまして、今日のような会がきっかけとなってそれが熱になっていくというようなストーリーをやっぱり描いていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いをいたします。

2 自己紹介

青木座長	それで、私が座長ということでございますので、日程に沿って進めさせていただきます。日程の2番、自己紹介としております。大方の方は昨年と同じ顔ぶれでございますが、役場も含めまして何人か変わっておりますので、全員の方から一言ずつ自己紹介ということでいただきたいと思っております。
山根委員	三朝温泉病院診療技術部長しております山根と申します。そのままですか。昨年は、別所君を中心にうちの温泉プールを使いまして温泉運動浴ということで取り組み、その効果が出たというのは感じております。町民の方の温泉とスポーツの習慣化というところに寄与できたかなと思っております。よろしく願いします。
別所委員	三朝温泉病院の別所と申します。去年同様この会議を通して少しでも町民の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思っておりますので、よろしく願いします。
相生委員	三朝温泉観光協会の相生といいます。所属するところはスポーツセンターになっております。そちらの方でバランスボールの教室を開いたりして、町民の方が今以上元気になるようなことで、継続して続けていっております。この会議でも何かお役に立てるようなことがあれば、やっていきたいなというふうに思っております。よろしく願いします。
中川委員	旅館組合の中川と申します。旅館組合というところで、特に湯ラックスで旅館との調整などで協力をさせていただけたらと思っております。よろしく願いします。
新藤委員	三朝町商工会の青年部に所属しております新藤と申します。昨年からの会議に参加しております。今年もこの事業に向かっていくにあたって、商工会としても、何か役に立てるわ、というアイデアも含めて、組んで参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

	ます。
山内委員	NPO みささ温泉から出席させていただいております山内有二と申します。昨年に引き続き、今年度も出席させていただきます。NPO みささ温泉はすーは一温泉とい熱気浴施設を運営しておりますので、そういった部分も、何かこの事業と関連して、協力できればいいかなと思っておりますので、よろしくお願いします。
小浜委員	地域協議会連絡会の三朝地区の事務局の小浜です。こちらからの参加になります。よろしくお願いします。
森委員	スポーツ推進委員から出席させていただきます、副会長の森と申します。スポーツ推進委員は3つの部会から成っており、スポーツ推進と健康増進、研修広報という3チーム4人ずつおりまして、各地域協議会推薦と学識経験からなっております、私どもは健康増進の分野で参加をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。
米田委員	同じくスポーツ推進委員の米田です。スポーツ推進委員の目指すところは、町民の健康づくりですので、まさしくこのチーム会議が目指すところと、重なる部分が大いなので、積極的に皆さんのご意見を聞きながら、これからも参加させていただきます。よろしくお願いいたします。
谷川課長	社会教育課課長の谷川と申します。7月1日の人事異動で農林課より参りました。先月までは、農業や林業に携わる仕事をしておりました。新しい分野の仕事になろうかと思えます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。
岩山課長	福祉課課長の岩山と申します。4月1日から福祉課長を務めさせていただいております。担当するところは主に障がい者や高齢者、国民健康保険というところですが、この取り組みがゆくゆくは高齢者のフレイル予防、介護予防の分野につながるよう皆さんのお知恵をお借りしたいと思います。よろしくお願いいたします。
藤井課長	観光交流課の藤井でございます。観光交流なので健康という部分と直接的ではない部分もあるかもしれませんが、ただ、こういった取り組みが、町の経済であったりとか、活性化に繋がったりしているようなことを期待している部分がございますので、一緒に頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。
青木座長	地域振興監の青木と申します。60歳になりましたので、この先のことを考えると、自分もお世話になるのかなと思いつつ日々こういうことに関わるというのが不思議な気持ちなので、自分のためにやるかと思えば、これは考えやすいかなと思ったりしています。つたない進行役をさせていただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。

3 報告事項 ※アイスブレイク含む

青木座長	それでは、日程の3番報告事項に入っていきたいと思えます。事務局の方でお願いできますか。
事務局	<p>皆さんこんばんは。企画健康課の米田と申します。昨年度に引き続き、今年もこの運動スポーツ習慣化促進事業の担当をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>【アイスブレイク】</p> <p>それでは報告事項としておりますけども、前回の会議で相生委員にアイスブレイクの指導をいただいたように、今回は動画を準備させていただいておりますので、皆さんこの動画が見える位置に傾けていただいでですね、三分程度の動画エクササイズをちしようと思えます。椅子を使ったものになりますので、座っていただいた状態で、ちょっとテーブルから離れていただいたほうが動きやすいかなと思えます。</p> <p>スポーツ庁「下半身の筋力」自分の身体知っていますか？～室伏広治のセルフチェック～Lower extremity strengthを視聴</p> <p>今日やらせていただいたのが、下半身の筋力ということで、主に椅子を使ってできるエクササイズでした。最初に何個か動画を見てもらったんですけども、このシリーズでいろんなエクササイズの動画、三分程度のものが、「スポーツ庁」とYouTubeで検索していただ</p>

いたら出てきますので、もし興味がおありの方ありましたら、帰ってみてやってみたり、他の人に広げていただくなどしてぜひ活用していただけたらなというふうに思います。ありがとうございました。

【前回会議の振り返り】

それではこのまま報告事項に移らせていただきます。それではまず前回会議の振り返りということになります。資料1をお手元にご準備いただければと思います。

前回会議ですが、3月18日月曜日に、6時半から役場第2会議室にて開催をしております。内容としましては、先ほど申し上げました、まずアイスブレイクということで、相生委員にご指導いただき、バランスボールを使った体幹を鍛える運動ということで、写真を載せておりますが、このようなことに取り組んで参りました。なかなか普段バランスボールに触れるという機会が少ないかなというふうに思いますので、こういった運動方法もあるということを知る良いきっかけになったのかなというふうに感じております。なお、相生委員はスポーツセンターで運動教室というのを定期的実施されていますので、受講者募集の際などは、ぜひ委員の皆様もご参加であるとか、周知というところにご協力いただければなというふうに思います。

報告事項に移りまして、まず温泉運動浴、それから湯ラックスについて、別所委員にもご協力をいただきながら、事業の取り組み結果というものをご説明して参りました。

温泉運動浴については、延べ52名に参加いただき、計8回の湯中運動を行ったところです。温泉病院さんの体組成計測定器というものを使用させていただきまして、取り組み前後で測定を行ったところ、測定したすべての方で筋量の増加が確認されたという結果になりました。参加者さんの特徴ということ平均年齢70歳というところ、冬季期間でしたので運動機会が少なくなると考えられる中で、こういった改善効果ということが出たのは、これは湯中運動の強みということで、認識をしたところです。次年度以降続けていくために確認することとして、参加費のことであるとか、指導者の確保、会場の確保ということがありました。この辺りについては後程、今年度の取り組みのところ、こういった整理をしたのかというところを説明させていただきたいと思います。

それからみささ湯ラックスについてです。延べ140名にご参加いただき、世代別の3コースで各4回ずつの計12回の運動教室を実施しました。会場は旅館の会議室としたことと、それから参加1回につき入浴券を1枚お配りするというので、温泉入浴と運動とを密接に連携させる仕組みで実施したものです。最終的に入浴券は121枚が使用されたということでしたので、8割以上の使用がありました。それからオンラインフィットネスということで、10分から20分程度のフィットネス動画を視聴できるサービスも取り組んでみまして、総再生回数が230回ということでしたので、こちらの数字については若干想定より少ないのかなという印象を持ったところでした。

そして次に鳥取看護大学の田中教授によるアンケート分析について説明を行いました。田中教授には湯ラックスと温泉運動浴で、参加者に取り組み前後に合わせて2回のアンケート調査を実施しており、この調査からわかることというところで分析をしていただきました。まず参加者の中で、運動習慣がなかったという人にとっては、意識啓発に繋がった点で、有効であるというようなお話を伺っております。これは無関心層が運動に取り組むきっかけになったということで、事業の趣旨にも合致するというような評価をいただいたと認識しております。一方で、対象者数、サンプル数が、両取り組みを合わせて約50名程度ということになりますので、このサンプル数というのは少なく、この結果をもって、町民全体にこの効果が享受できたとは、到底言えませんので、今後多くの人を巻き込む取り組みをしていくという必要があると感じたところです。

次に前回会議では、グループワークということで、取り組みや取り組みに対するアイデア出しをグループに分かれて行いました。キーワードみたいなものを付箋に書いていきまして、模造紙に貼っていく、他の人の意見を聞きながら、意見交換をしていくというグループワークを取り組みました。

テーマの1つ目が湯ラックス・温泉運動浴について、こちらに記載している通り、たくさん意見をいただいたところです。テーマの2つ目は、令和6年度に取り組みたい新規

の取り組みということで、こちらについても記載してる通り、たくさんの意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは前回会議の振り返りについては以上となります。

【令和6年度事業の説明】

令和6年度の運動スポーツ習慣化促進事業についてご説明をさせていただきたいと思っております。お手元に資料2と振られた資料と、それからその詳細を書いております資料2-2と書かれた資料、見ていただきながら聞いていただければと思います。

まず今年度の事業計画とスポーツ庁への申請状況というものについてお話をさせていただければと思います。今年度ですけれども大きく3つの取り組みをして参りたいというふうに考えております。

1つ目が、みんなで歩こうよ。これはウォーキング等の運動記録を一定期間測定しまして、取り組み前後の身体記録がどのように変化するかというのを可視化することで、健康づくりの数値の維持だとか改善を図っていくきっかけにしたいなということで企画したのになります。資料2の真ん中あたりにスケジュールイメージというふうに入れておりますけれども、流れとしまして、まず参加者募集と、それから取組前に身体測定を行います。それと取り組み後3ヶ月ぐらいを想定しているんですけれども、例えば体重を何キロ落とすだとか、体脂肪率を落とすだとか、そういった目標設定も、このタイミングで行いたいと思います。参加方法としては、個人で参加いただくのもいいでしょうし、チームや団体という複数人で参加していただくことも想定しております。取組前の身体測定と、それから目標設定を行うことで、今の現状を知ることとなりたい自分の数値を決めるということで、改善維持を目指す上で、重要と考えていますので大切にしたいと考えています。

それから登録者には、この3ヶ月間何を測るかということなんなんですけれども、活動量計で、一般的には、歩数・消費カロリーだとかっていうのがわかるものを想定しています。衣類とか手首とかにつけていただくようなイメージでいいかと思うんですけれども、そういった活動量計というのを配布しまして、3ヶ月間の活動記録を測定していきたいというふうに考えております。機器の詳しい仕様についてなんですけれども、まだ確定がしていない段階なので、細かなことはお伝えできないんですけれども、先ほど申し上げた通り、最低限歩数と消費カロリーが測定できるものっていうのを準備しようかなというふうに考えております。ただ、1点ちょっと気にしているのが、3ヶ月間、データを機械の方で溜め続けることが、おそらくできないのではないかなというところで、1ヶ月ぐらいのスパンで、一旦そのデータを事務局の方に集約をさせてもらうタイミングが必要になってくるのかなというのを想定しております。ただ、それは紙に書いてもらって出してもらうというようなものじゃなくて、読み取り機みたいなものを事務局が持っていて、それで短時間でデータを移行させることができるようなものでいきたいなというふうに考えております。

そして、資料の方にはキックオフイベントというふうに書いていたんですけれども、こちらは当初9月頃というふうに想定していたんですけれども、10月にしたいというふうに現在考えております。といいますのもこの測定期間が始まって、1ヶ月から1ヶ月半ぐらい経過したところに、モチベーションの維持といいますか、最初にイベントをしてしまっ、2ヶ月目3ヶ月目に、モチベーションが下がってしまうということも危惧されますので、取り組みが始まってちょうど真ん中ぐらいの期間で、10月ごろにイベントを実施したいなと考えております。今日この後のイベントについて、アイデア出しの時間を設けるようにしていますので、まだ確定したものはないんですけれども、最低限イベントの方では、ゲストを呼んで、運動の促進に繋がるような講話をいただくだとか、例えば、呼びするようなゲストがアスリートというような方であればパフォーマンスをしてもらって、そのあと一緒に参加者とこのゲストで温泉街歩いてみたりっていうようなことを考えております。

このイベント後も引き続き測定を進めまして、最終3ヶ月経った後の事後測定の際には、記録を集約しまして、参加者の皆さんにフィードバックすることはもちろんですが、何か参加得点だとか、成績に応じて、記録によってプラスアルファの特典をつけるようなことも考えて、モチベーション向上を図りたいなというふうに考えております。まだこれ

から肉付けしていく企画になりますので、ぜひご意見をちょうだいできればなというふうに思います。

次に、温泉運動浴です。温泉運動浴については、取り組み自体の内容というのは、昨年度行っておりますので皆様ご存じかなと思いますけども、昨年からバージョンアップさせてやろうかなと思っている部分は、昨年は1回7名というところで、定員を設けさせていただいております、なかなか参加してもらう数をふやすことができなかったんですけども、より多くの方を巻き込むために、まずコースをふやすということと、それから指導ありの回と教えていただいたことを自分たちで指導者なしで自由に温泉プールに入って運動してもらおうという回を設けることで、反復回数が増えますし、経済的に続けられる仕組みというのを図りたいと考えています。

昨年の振り返りでもありましたけども、指導込みで1回500円は安いんじゃないかということで、指導者ありの場合は、今回1000円でやっています。フリーの場合には、会場使用料という意味合いで、500円という設定をしようかなと考えております。こうすることで回数はふやして運動の効果を高めたいんですけども、1回1000円が10回20回となると、経済的な負担にもなってしまって、続かない可能性もありますので、間をとったというような形でしております。また、お試し体験会、1回からの参加もOKというような体験会もやってみることで、その人たちがそのあとどう継続していくのかということもセットで考える必要はありますけども、温泉病院さんを知ってもらうということ、病院を身近に感じてもらうというようなところでも、力になれるかもしれないなということで、開催を予定しております。温泉運動浴については、秋以降に開催を予定しておりますので、今後温泉病院さんと協議の場を持たせていただいて詰めていければなというふうに思っております。

次に湯ラックスについてです。昨年の振り返りを踏まえて、世代別というよりは、メニューの内容で2コースを設けようというふうに考えております。ヨガやストレッチを中心とした柔軟性向上を目的としたコース、運動不足解消を目的としたコースで考えております。こちらについては、昨年の参加者アンケートでよかったメニューということで評価をいただいたものになります。そこからこのテーマに一貫したメニューに取り組むことで、より効果追求型の内容としたいと考えております。昨年は月2回を2ヶ月で計4回という開催でしたけども、今年は月2回を3ヶ月で、計6回、回数をふやすことも考えております。

取組前後に、こちらにも身体測定と目標設定をすることで、より効果を高めるねらいを考えております。会場につきましても、昨年と同様旅館さんを中心にやっていきたいなと考えていますので、今の段階で会場がどの旅館さんになるかという話はまだ詰めていませんが、中川委員もいらっしゃいますし、旅館組合さんにもこれから相談をさせていただきながら、詰めていければなというふうに思っております。

続きまして、資料3をご覧くださいませでしょうか。運動スポーツ習慣化促進事業のスケジュールということで資料を準備しております。本日、第1回目の会議を7月3日にさせていただきますが、年間4回予定をしております。8月中旬頃に第2回目ということで、それぞれの事業の企画を詰めたものを皆さんにお示しして、ご意見をいただければなというふうに考えております。それから11月頃の第3回については、ほとんどの取り組みが始まっていますので中間報告というような形をさせていただき、それから2月の第4回については、すべての取り組みが終わっていますので、取り組みの実績報告と含め、令和7年度に向けたお話というのを想定しております。

みんなで歩こうよ、それから湯ラックスにつきましては、今回補助業務として、業者さんに関わっていただくことを想定しております。この業者選定というのを、まさに今進めておまして、8月に業者が決まるというようなことを想定しております。その中で、細かく取組内容というのがまだ決まっていない状況となっております。

温泉運動浴につきましては、先ほど申し上げました秋11月から冬の1月ごろということで想定をしております。まだ他の取り組みに比べて、取りかかる時間に余裕がありますので、今後温泉病院さんとも十分に話を進めながら進めていきたいなというふうに考えております。

	<p>それから先ほどの事業計画の際にはお示ししなかったんですけども、フラダンスというものを入れています。このフラダンスというのは、昨年度のアンケート調査分析でお世話になりました鳥取看護大学の田中教授から、フラダンスやってみてはどうでしょうかというようなことで提案をいただきました。ひとまず、フラダンスというものが候補の1つとして考えていまして、需要がどれくらいあるのかということや、そもそも周辺に講師さんがいらっしゃるのかというようなことも含めて、調査段階にありますので、次回8月の会議の中で、本当にこのフラダンスができるものなのかどうかということ进行调查した上で、またお示しできればなというふうに考えております。</p>
青木座長	<p>昨年の振り返りと今年のスポーツ習慣化事業の主だったところをお話をさせていただきました。 ここまでで質問なり、ご意見を伺って参りたいと思います。</p>
山内委員	<p>先ほど説明を一通りしていただいて、昨年から引き続き、やっている事業については、いいと思います。昨年の実績を踏まえて改善点とか、いろいろ考えられてやられるのでいいかなと思います。僕が提案をさせていただくとすれば、みんなで歩こうよっていうところで、これから内容詰めていくと思います。計測器の件について、お話されていましたが、ほとんどの方がスマホ持っていて、それと連動してるスマートウォッチとか持っています。そしたら、持っていない方にはお貸しするっていう感じで提供すればいいと思うんですけど、出回っているアプリをみんなで使うっていう方法があるのかなと。僕も健康サポートっていうアプリを使っています、毎日の歩数と消費カロリー等を計測できます。それが毎日計測されるので、週、月毎とか全部集計されます。今のお話だとどこかのタイミングで預かって、カウントするみたいなことをおっしゃってましたけど、アプリと連携すれば、日々の歩数やカロリー消費を全部集計できるので、それを一括で見ることのできるのかなと。そういうやり方をやった方がスマートなのかなというふうに思いました。</p> <p>この委員会は、スポーツ習慣化促進チームっていうことですけど、温泉を活用した健康まちづくり推進会議がありますよね。あの中で事業計画の中に入っていたのは、そういったアプリを開発するみたいなこともあったので、今回のこの件についても、そこにつながるためだと思って、そこを見据えてやっていくほうがいいんじゃないかと思います。</p> <p>イベントについては説明されていましたが、例えば10月1日から10月31日までの1ヶ月間の総合歩数で、一番歩数が多かった人、2番目3番目とか、そこまで決めてその歩数で、何か景品をつけるとか、そういったことをやっても面白いのかなと思ったり、あとは何歩以上歩けた人には入浴券をととか、そういった感じで考えると、目標ができていいのかな、楽しめる感じでいいのかなと思いました。1ヶ月しっかり歩くっていう意識を持って、イベントに参加できるので、単発でやるっていうことよりも、1ヶ月を通してやるっていう形の、そのビジョンの持ち方でやっていけばいいかなっていうのと、その間に有名なアスリート呼ばれて、イベントやるっておっしゃってましたけど、それはそれでありだと思うんですよ。そういうイベントも1ヶ月の中にどっかに設けて、しっかり歩くっていう期間も設けてその日に参加してもらって、楽しみながら歩数も稼ぐみたいなイベントにしても、でも、1ヶ月通してしっかり歩くということもしてもらいたいな、そういう取り組みをすればいいかなっていうふうに話を聞いていて思った次第です。</p>
青木座長	<p>大変わかりやすいまとめた意見だというふうに思いますが、事務局の方で回答がありますか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございました。まず、測定機械というところでご意見をいただいたかと思えます。おっしゃるように温泉を活用した健康まちづくり事業推進会議の方で、アプリの開発というのも見据えてという動きがありますので、おっしゃったように、このスポーツ習慣化チーム会議で行う事業の中でもそういった動きをしていくことで、より浸透させることもできるかなというふうにお伺いをさせていただきました。そういった意見も踏まえながら、今後関わっていただく業者の提案とあわせまして、もしかしたらこういったスマホの方で測定・集計ということも可能になるかなと思いますので、こちらについてもまた決まり次第、共有をさせていただければなというふうに考えております。</p> <p>それからイベントについても、ご意見をいただきありがとうございました。我々が今想</p>

	<p>定していたものは、3ヶ月間の測定の真ん中ぐらいで、メインイベントを1つやろうかなと思っておりましたけども、今おっしゃったように、メインイベント1つと、それから途中途中へと続けていけるような取り組みというの、十分検討していく必要があるかなと思いますので、いただいた意見を踏まえて、また次回こういうふうになりましたというのをお示しできるように進めて参りたいと思います。ありがとうございました。</p>
別所委員	<p>山内委員とかぶるところもあるんですけど、活動量計をうちの病院でも貸出したときもあったんですけど、結構紛失、どっかなくなっちゃいました。どうしようっていうのがありました。やっぱり、スマートフォンで例えば歩数だけでも、集計取ってみるみたいな形から始めてもいいのかなと思いました。</p> <p>あと、ウォーキングイベントを結構いいなと思って、全国でも結構調べたんですけど、親子や孫おじいちゃん世代で参加するみたいな結構よかったですので、何かそれで参加したらもうすでに参加賞というか、そういうのを準備するだけとかっていうので、高齢者の方に参加して欲しいんですけど、そういう場所に行くのが億劫なことだったら、何か孫と一緒に参加すれば商品が出る仕掛けとか、こういうデバイスみたいなものを使うんだったら、おじいちゃんに教えてあげるみたいな形をすると交流が増えたとかフレイル予防になればいいんじゃないかなと思いましたが、意見を出させていただきます。</p>
事務局	<p>今、おっしゃったようにターゲットの年齢層をどこにするかというのは非常に大事だなというふうに考えております。幅広く、孫からおじいちゃん、おばあちゃんたちの世代まで取り込めるようなことをしたいなというふうに考えておりますので、また今後進めていく中でご意見を聞かせていただきながら進めて参りたいと思います。</p>
青木座長	<p>その他どうでしょう。では、また後からでも届けていただければと思いますが、次へ参りたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、プロポーザル審査について、資料4とそれから4-2というものをお手元にご準備いただければと思います。先ほど、事業計画の中で業者の選定を行いますということでお伝えしましたがけれども、こちらはみんなで歩こうよ、それから湯ラックスについて企画の補助業務というところで、業者の力を借りて進めたいなというふうに考えております。</p> <p>主な業務内容につきましては、みんなで歩こうよのイベントに関するゲスト調整に関わることであるとか、それからイベント自体の企画補助、こちらでいろいろとしたいことを上げていくんですけども、全国的にそういったイベント調整とかに、実績があるような業者になるのかなと思いますので、他自治体だとかの事例っていうのもお聞きしながら進めていければなというふうに思います。</p> <p>それから、活動量計の貸出と記録の集約っていうのもお願いしようと思っております。湯ラックスの講師派遣というところもお願いしようかなというふうに考えております。業者の選定というのをプロポーザルという形で、今現在募集をしております、プロポーザルに係る日程を見ていただければと思うんですけども、7月8日月曜日に、まず参加の申し込み書が出てくるというような形になっております。その後30日火曜日に提出があった業者からプレゼンを受けるというような形を想定しております、その中から業者が決まっていくというような流れになっております。</p> <p>今度は資料4-2になるんですけども、選定にあたっての審査委員会というのを設けます。委員については、地域振興監を委員長としまして、本日もチーム会議に出席いただいております3課長。このチーム会議の委員の皆様の中から2名程度ご協力をいただきたいなというふうに考えております。すでにプレゼン日が30日というのが確定した状況であることと、おそらく想定される時間というのは、応募数にもよりますが、日中の時間帯になるということがありますので、なかなか委員の皆様もご都合がつかないかなというのものもあるんですけども、もし、やってみようという方がいらっしゃいましたら教えていただければ幸いです。なかなか今すぐにこの話を聞いて調整がつかないこともあるかなと思いますので、今週の金曜日ぐらいまでは募集期間としたいなと思いますので、それからこちらからも声をかけさせていただければなというふうに思いますので、ご理解いただければと思います。詳細については、お配りしております実施要領と審査要領というものを</p>

	見ていただければと思いますが、何か不明な点等ありましたらお声をかけていただければと思います。
青木座長	はい。ありがとうございます。もう1回ちょっと整理確認ですが、審査委員数は何人で、このチーム会議委員の皆様からは何名募集ですか。
事務局	全体が6名以内で審査委員長が地域振興監。それから福祉、観光交流、社会教育課長の3名。チーム会議委員からは2名をお願いしたいです。
藤井観光交流課長	確認の意味で、このプロポーザルで業者には何を頼むか教えてください。令和6年度の主な事業が3つあるっていう話だったんですけど。
事務局	業者に依頼する業務内容というのは、まずみんなで歩こうよで想定をしているメインイベントのゲスト手配があります。それから、メインイベントを組み立てていく上で、こちらがこういうイベントにしたいという思いは伝えますけども、それをもとに、イベントの企画を作り上げていただく企画補助ということを2つ目に想定しております。3つ目は、活動量計の手配というのもお願いをしようと考えております。記録の集約というところもセットの業務です。最後に湯ラックスの指導者派遣、ヨガやストレッチであるとか、運動不足を解消としたハード面の動きをするような運動教室の講師派遣、この4つを想定しております。
青木座長	測定器の貸出はさっき別所委員が言われたこととリンクする部分があると思うので、そこはご検討ください。先ほどの月末の日程と8月中旬にはもう1回この委員会開いてというあたりが、プロポーザルというのは提案をもらうということにもなりますので、その辺のかみ合わせ方を少し注意しないと、ここで出た意見とプロポーザルとつながらないということがありますので、そこを事務局では注意をしながら皆さんのご意見が活きますか、ご意見が前にいくような部分を持ちながらやっていきたいというふうに思っておりますので、また調整をさせていただきたいと思います。 次、温泉を活用した健康まちづくりの事業の現在の状況になるでしょうか。事務局お願いします。
事務局	企画健康課の岩本です。私からは、資料5の温泉を活用した健康まちづくり事業についてご説明をさせていただきたいと思います。この会議でもこういったポンチ絵については、何回かご紹介をさせていただいております。タイミングを見ながら、皆さんとも温泉を活用した健康まちづくり事業全体の共有をしながら進めていきたいと思っておりますので、今回この場でご説明をさせていただきます。こちら事業全体については、令和4年度に基本構想、令和5年度には基本計画ということで定めながら進めてきております。ここにご出席いただいております皆さんの中にも、構想と、それから計画、それぞれワーキングと検討委員会というような形で進めてきておまして、ご参加ご協力をいただいた方もございます。そういった温泉を活用した健康まちづくり事業全体のことについては、こういうような形で、いわば刻みながら、皆さんと一緒に確認をしてきたというようなこととさせていただきます。それぞれ3本の柱を立ててさせていただきます。説明をさせていただきますが、一番三朝温泉を知ってもらうということについては、温泉の効能や効果、これまで三朝温泉について研究されてきた内容について、町民皆さんにもっと関心を持ってもらおうと、そして事業全体を知っていただくということで、進めていくこととしまして、今年1月には、関連するようなシンポジウムを開きまして、多くの皆さんに来ていただきましたし、YouTube だとかでも流したところでございます。 2つ目温泉と健康づくりを連携させるにつきましては、まさに今お集まりいただいて、このチーム会議で皆さんと一緒に協議をさせていただいておるような湯ラックスでありますとか、温泉運動浴、そして今年については、ウォーキングの事業についても立ち上げながら進めておるところでございます。こちらについて、スポーツ庁の方の補助金を活用しておるということがございまして、昨年度は200万円。国の方からお金をいただいて進めております。今年度については、予算額で申しますと400万円程度ということで、昨年の予算を倍増して進めておるところでございます。いわば、皆さんと一緒に協議をしてきたこ

	<p>れら事業が認めていただいたと、お墨付きをいただいたというふうに我々理解しております。胸を張って、また今年度も進んでいこうかなというところで考えてます。</p> <p>最後、3番の入浴等施設を整備するというところでございますが、新しい日帰り温泉の機能について整理をしていこうというところでございまして、整備する予定地といたしましては、山田地内、特にスポーツセンターの周辺ということで計画をしております。基本計画の中にもそこについて触れておりまして、今年度に入ってから地域の確認、現場の確認だとかいろいろ進めておりまして、特に場所については、スポーツセンターの東側と溪泉閣との間にあるような辺りに、今時点では整備をしたいと考えておりまして、用地交渉の段に入ろうというところでございます。これにつきましては、さきの町定例議会の方でも説明をさせていただいて、議員皆さんには一定のご理解はいただいたというような状況でありまして、地権者さんとの交渉の中で、これから決まっていくのかなというところでございます。重ねてになりますが、町の進めていきます一大事業ということで、ここにお集まりいただいている皆さんとか、関係する皆さんと連携、共有しながらこれからも進めていこうと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。以上全体のご説明ということで、はい温泉の事業の状況をお話をさせていただきました。</p>
青木座長	<p>2番と3番が両輪ということになろうかなと思っております。そういう意味では最初に申しましたように2番のいわゆる作り方、定着のさせ方というのが非常にポイントになってくる部分だというふうに思っております。温泉ができたとしても風呂ができればいいというものではないというところにこだわりを持ってらるというのが我々のスタンスでございます。そこをご理解をいただくことがうれしく思うところでございますのでよろしくお願ひをいたします。</p> <p>これについて何かありましたら伺いましょうか。また、お気づきの点があれば教えていただければと思います。</p>

4 その他

青木座長	<p>それでは、4番のその他でウォーキングイベントの企画提案についてということで、事務局からまず説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、ウォーキングイベントの企画提案についてということで、こちら資料を事前送付させていただいております。すでに考えていただいて、記載いただけている方もおられるかもしれませんが、5分程度シンキングタイムということで、資料6見ていただきながら時間をとらせていただきまして、可能であれば発表いただくという流れでいきたいと思っております。</p> <p>なかなかこの会の中でいただいた意見で、確定とはいかないかなと思っておりますので、いただいた意見はきっちりこちらで集約をしまして、また取り込めるかどうかというのを検討して、次回の会議の中でお示しをしていきたいなというふうに考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
青木座長	<p>先ほどからの意見の中にも多分含まれていたかなというふうには思いますので、5分間ほど時間をとります。考えてこられたことなりを紙の方へ記入をいただければと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>～シンキングタイム～</p> <p>先ほど、発表までということでお伝えしましたが、事務局で集約をさせていただいて、今後の取組に加えながらまとめさせていただきますので、今日は回収ということにさせていただきます。全体を通して何か、言っておきたいなというようなことがもしあれば伺いたいと思います。</p>

5 閉会

青木	<p>それでは、皆さんご協力いただきましてありがとうございます。引き続きよろしくお</p>
----	---

座長	願いをいたします。今日はどうもありがとうございました。
----	-----------------------------